

MITSUBISHI

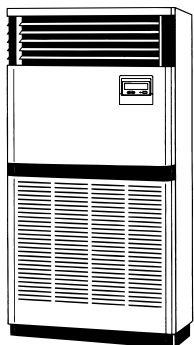
三菱電機パッケージエアコン（冷媒R410A対応）

PF-RP・BA5

PF-RP・BA6

取扱説明書

床置プレナム形 PF-RP・BA5
PF-RP・BA6



もくじ

	ページ
1. 安全のために必ずお守りください	1～3
2. 各部のなまえ	4
3. 運転のしかた	5～19
ワイヤードリモコン	5～13
ワイヤレスリモコン(別売部品)	14～17
4. お手入れのしかた	20・21
5. 長期間ご使用にならないとき	22
6. 「故障かな？」と思ったら	23・24
7. 保証とアフターサービス	25
8. 移設・工事について	26
9. 仕様	26





省エネで 守る環境 豊かな暮らし

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。







- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と『据付工事説明書』および『保証書』をお渡してください。
- お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

1. 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。

■“図記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	回転物に注意してください。 (室外ユニット本体に表示してあります。)
	絶対に水を掛けないでください。
	絶対に濡れた手で触らないでください。

●ご使用时

警告

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。



薬品消毒はしない

火災・変形の原因になります。



お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。



異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。



エアコンおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。



吸込口・吹出口に指や棒などを入れない 特にお子さまにご注意を！

内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



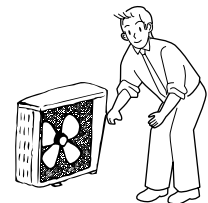
濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。



パネルやガードを取外さない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。



電気部品に水（洗淨水等）をかけない

電気部品に水（洗淨水等）がかかると、感電・発煙・発火の原因になります。



●ご使用時

⚠注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

小麦粉、うどん粉、そば粉などの粉はフィルターおよび熱交換器を目詰まりさせ、故障の原因となります。



禁止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼の原因となります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。



設置禁止

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。
品質低下の原因となります。



使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因となります。



設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因となります。



使用禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因となります。



換気

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因となります。



禁止

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。



保護具着用

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因となります。



設置禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

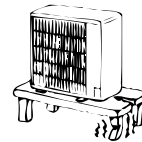
落下・転倒によるケガの原因となります。



禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

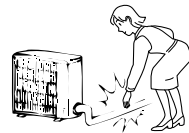
ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因となります。



放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。



禁止

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因となります。



電源を切る

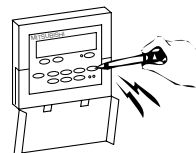
リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない。



据付禁止

リモコンをとがった物で押さない。

感電、故障の原因となります。



禁止

●据付け時

警告

お客様で自身で据付け・移動・再据付けはしない

工事に不備があると、ユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



据付け

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電・火災の原因になります。



漏電遮断器

小部屋に据付ける場合などは、換気対策を行う

万一冷媒が漏れても限界濃度を越えないよう換気対策が必要です。冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。



漏電遮断器

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまで自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

●使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。

●法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

警告

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据付けない

ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

注意

アース工事（D種接地工事）を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

ドレン配管は確実にを行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いので、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

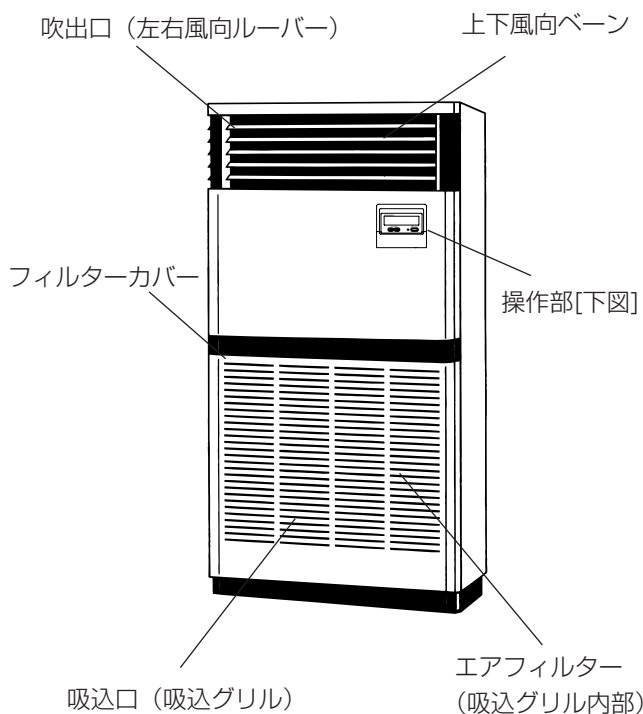
本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 酢（酢酸）を多量に使用するところ
- 油煙がたちこめるところ
- 温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪により室外ユニットが塞がれるところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

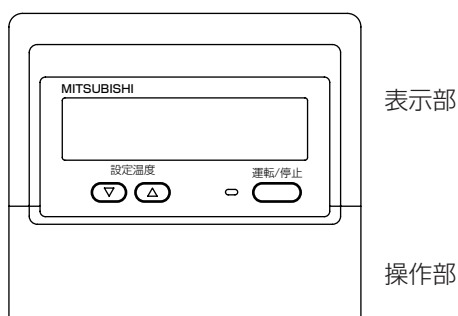
（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事）
説明書をご覧ください。

2. 各部のなまえ

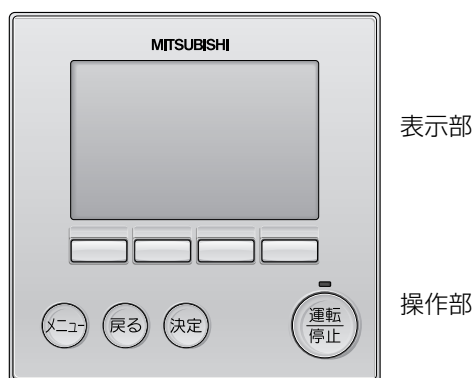
室内ユニット



リモコン

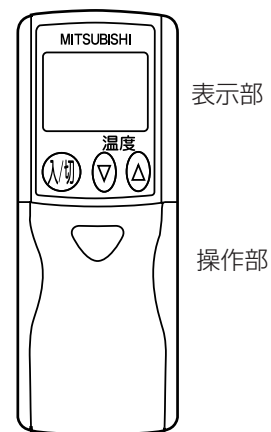


ワイヤードリモコン
(室内ユニットに内蔵)



MAスマートリモコン
(別売部品)

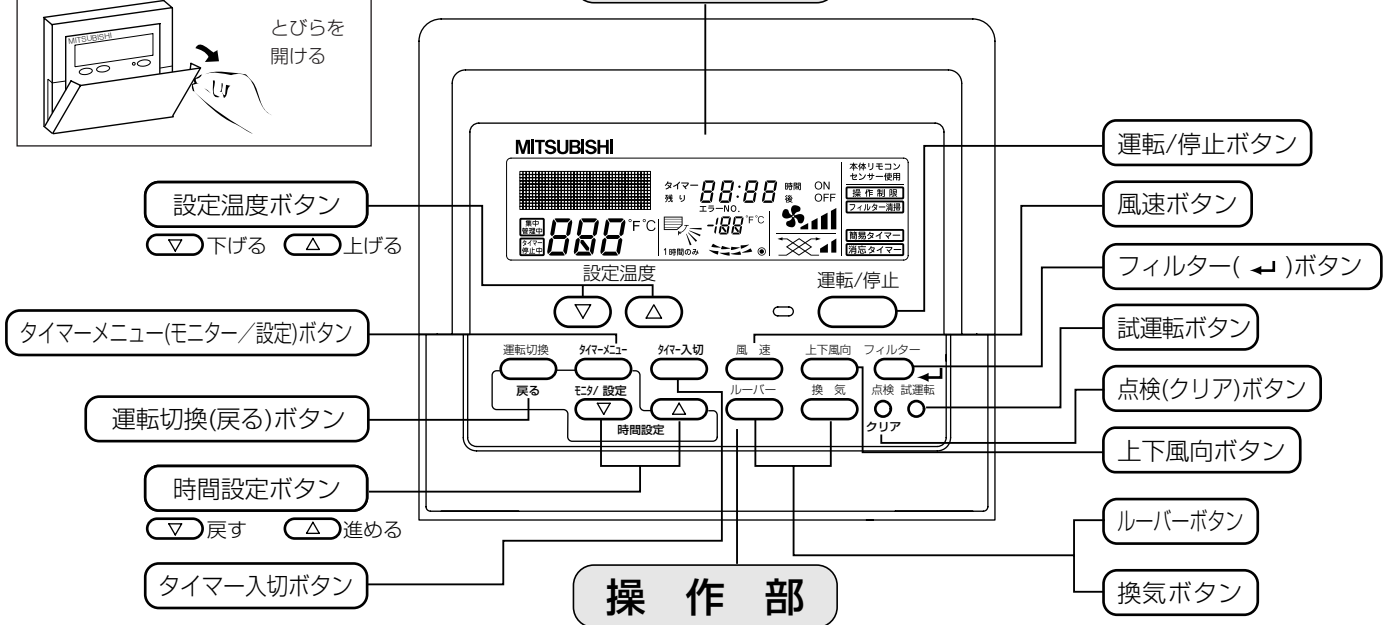
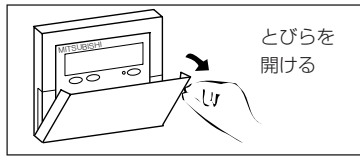
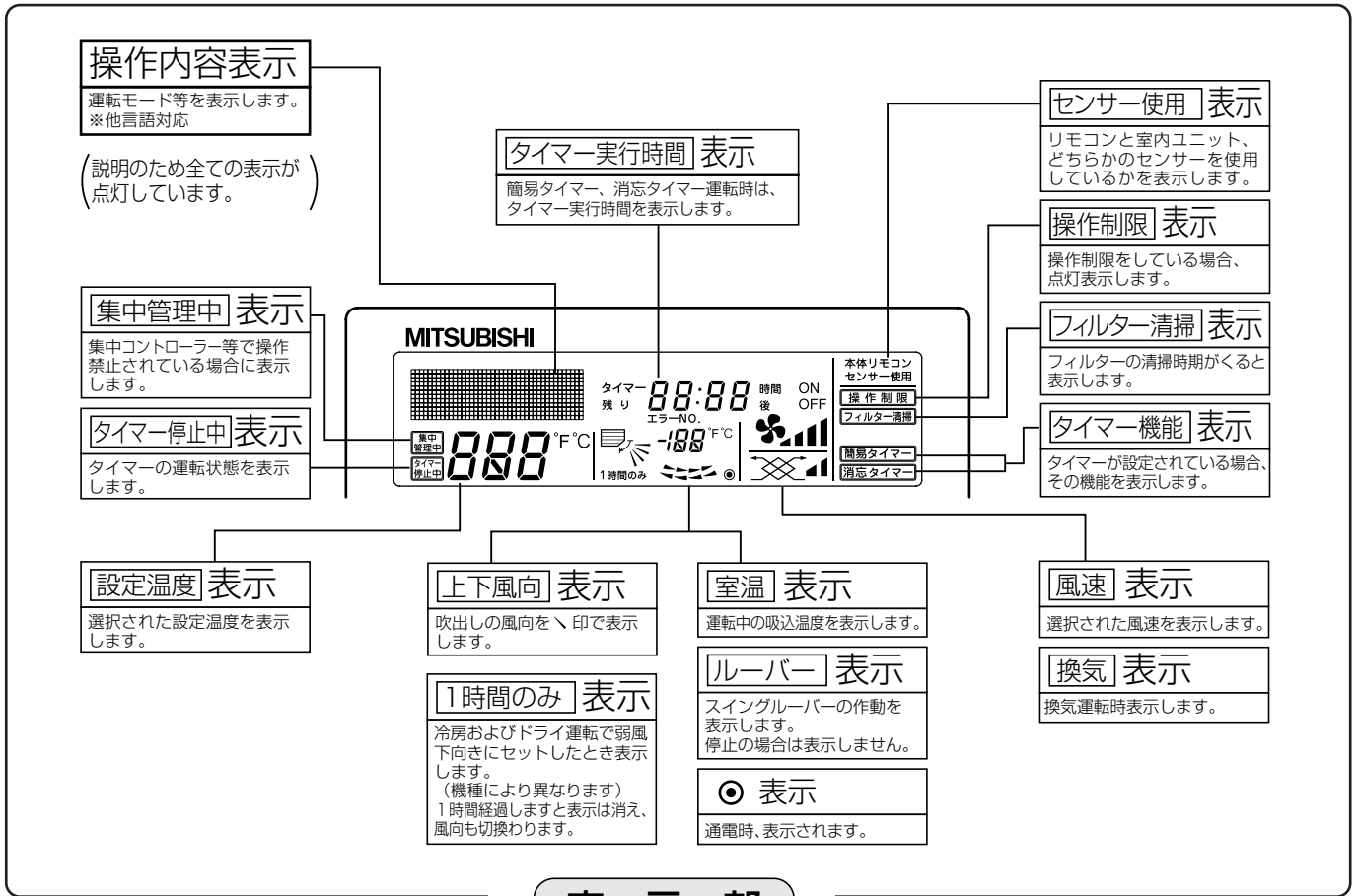
※操作方法は、MAスマートリモコン取扱説明書をご覧ください。



ワイヤレスリモコン
(別売部品)

3. 運転のしかた

1 ワイヤードリモコン

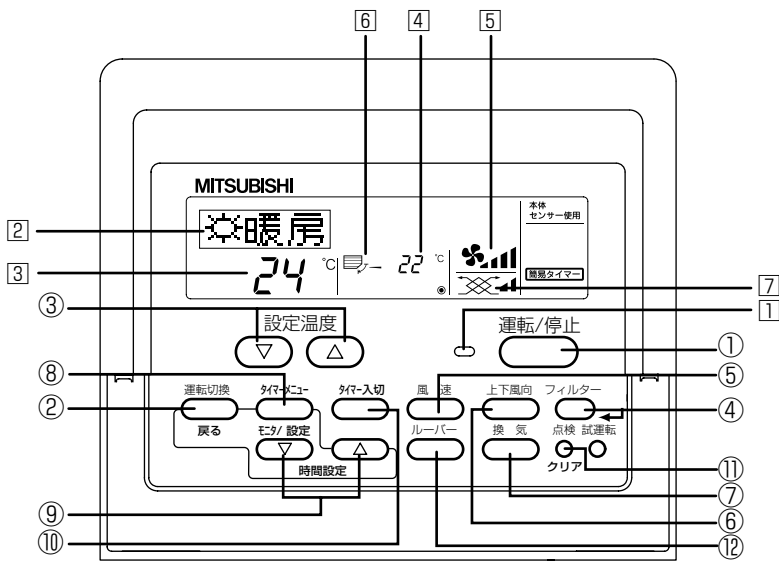


お知らせ

- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には“無効ボタン”と点灯表示が出ます。
- 1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。

(ワイヤードリモコン)

(1) 運転／停止と運転モード、室温調節のしかた



運転モード表示

- 冷房
- ドライ ※自動(冷房)/自動(暖房)モードは設定できません。
- 送風
- 自動
- 冷房 (自動冷房モード)
- 暖房 (自動暖房モード)
- 暖房

※自動(冷房)/自動(暖房)モードは設定できません。自動モード設定時、冷房/暖房の運転が確定した後に表示されます。

運転状態表示

暖房準備中

- 暖房 ↔ 準備中 交互に表示

霜取中

- 暖房 ↔ 霜取中 交互に表示

運転を開始するとき

- (運転/停止) ボタン①を押す。
- 運転ランプ⑦と表示部が点灯します。

お知らせ

- 再運転は、下記運転内容となります。

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度
風速	前回設定風速

運転を停止するとき

- (運転/停止) ボタン①を押す。
- 運転ランプ⑦と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき

- 運転中に (運転切換) ボタン②を押す。
- 1回押すごとに設定が切り替わります。運転モードが⑧に表示されます。

お知らせ



- 室外ユニットの機種により、自動・暖房機能がない場合があります。
- 自動運転の場合、設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室内温度が低いときは暖房運転を開始します。
- リモコン機能選択で“自動モード使用なし”が選択されている場合は、自動モードは表示されません。

設定温度を変えたいとき

- 室温を下げたいとき… 設定温度ボタン③を押す。
- 室温を上げたいとき… 設定温度ボタン③を押す。
- 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。設定温度が④に表示されます。
- 設定できる指定温度は次のとおりです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

- リモコン機能選択で温度範囲が制限されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。範囲を超えて設定しようとした場合、制限中であることが表示されます。

室温表示

運転中の吸込温度が④に表示されます。

お知らせ


- 表示範囲は8~39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
- 複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット(親機)の内容が表示されます。
- 室温センサー位置は、“本体”と“リモコン”が選択できます。初期設定は、“本体”となっております。室温センサー位置を“リモコン”に変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコン機能選択で“室温表示なし”が選択されている場合は、室温は表示されません。

(ワイヤードリモコン)

(2) 風速・風向調節と換気運転のしかた

風速を変えたいとき

- 運転中に (風速) ボタン⑤を押す。
 - 1回押すごとに以下のように設定が切り替わります。風速が ⑤ に表示されます。
 - 設定できる風速は次のとおりです。

風速	リモコン表示
2段階機種	

お知らせ

- このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
 1. “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
 2. 暖房運転直後（モード切替待機中）
 3. 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 4. ドライ運転時

上下風向を変えたいとき

- 手動操作となります。
 - 転倒しないように足場をしっかりとってください。
 - 運転を停止し、風向きルーバーをお好みの向きに調節してください。

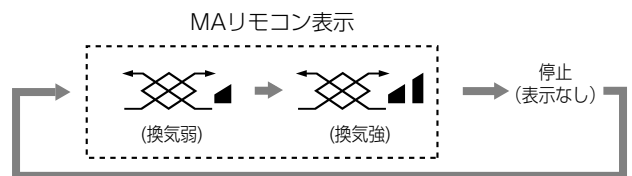
左右風向を変えたいとき

- 手動操作となります。
 - 転倒しないように足場をしっかりとってください。
 - 運転を停止し、風向きルーバーをお好みの向きに調節してください。
 - 縦ルーバーをプライヤー等で左右に動かしてください。
 - ※動かし過ぎると縦ルーバーの根元が破断する原因となります。できるだけ角度の変更は少なくしてください。

換気運転のしかた

- 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき
室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。換気運転が ⑦ に表示されます。
- 室内ユニットを停止中に換気装置のみを運転するとき
 - 停止中に (換気) ボタン⑦を押す。
運転ランプ ⑧ と換気運転が ⑦ に表示されます。

- 換気操作の風速を変えたいとき
 - (換気) ボタン⑦を押す。
1回押すごとに以下のように切り替わります。



お知らせ

- 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。
- (換気) ボタン⑦を押したとき、“無効ボタン”の表示が点灯する場合は、換気装置が連動接続されていません。

(ワイヤードリモコン)

(3) 簡易タイマー運転のしかた

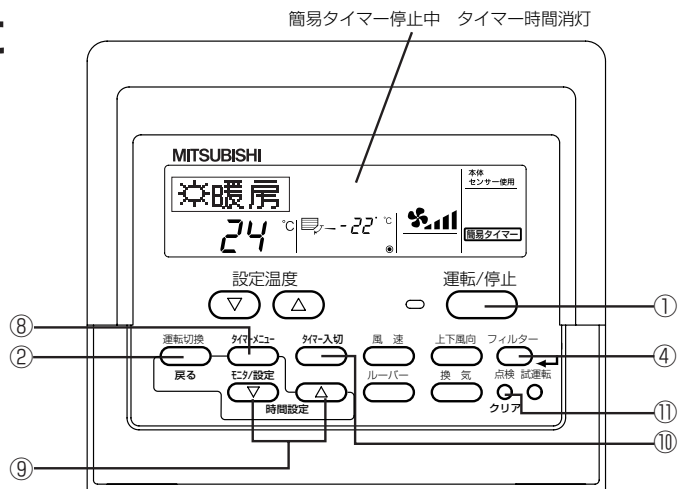
■簡易タイマー運転には次の3つの方法があります。

- 入タイマー運転 : 運転開始時間のみをタイマーで行う。
- 切タイマー運転 : 運転終了時間のみをタイマーで行う。
- 入切タイマー運転 : 運転開始/終了時間をタイマーで行う。

■簡易タイマー運転の設定は、72時間以内に入・切各1回以内です。設定時間は、1時間単位です。

■タイマー運転中には、簡易タイマーの他に消忘れ防止タイマーを選択することが可能です。

消忘れ防止タイマーの選択/設定方法は、次ページ『(4)消忘れ防止タイマー運転のしかた』、P12,P13の『(7)リモコンの機能選択のしかた』を参照してください。

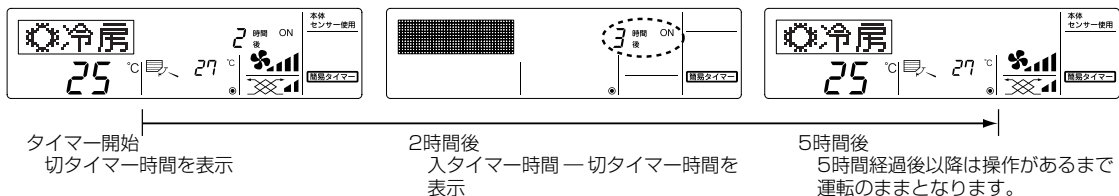


タイマー設定表示例 ※補足 入タイマー、切タイマーの両方が設定されている場合の表示切換について。

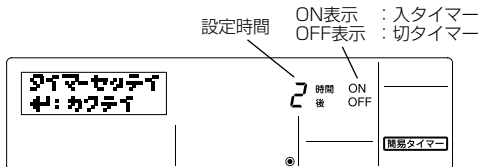
例1) 入タイマーから開始する場合 【入タイマー設定時間: 3時間後ON 切タイマー設定時間: 7時間後OFF の場合】



例2) 切タイマーから開始する場合 【入タイマー設定時間: 5時間後ON 切タイマー設定時間: 2時間後OFF の場合】



簡易タイマーの設定のしかた



- 液晶に「簡易タイマー」が表示されていることを確認します。
- (タイマーメニュー) (ボタン⑧) を押し、「タイマーセッテイ」表示とします。ボタンを押す毎に、「タイマーモニター」と「タイマーセッテイ」の表示が切り替わります。
- (運転/停止) (ボタン①) を押し、運転開始時間、運転終了時間の設定表示とします。ボタン①を押す毎に、「時間後 ON」と「時間後 OFF」の表示が切り替わります。
 - ・入タイマー(運転開始時間の設定表示): 「時間後 ON」
 - ・切タイマー(運転終了時間の設定表示): 「時間後 OFF」
- (時間設定) (ボタン⑨) を押して、入タイマー(運転開始時間)または切タイマー(運転終了時間)を設定し、(フィルター) (← ボタン④) を押して時間を確定させます。
 - ・入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は「--」表示の状態としてください。
 - ・設定範囲時間: 1~72時間
 - 設定した時間を取消すときは、(点検(クリア)) (ボタン⑩) を押し、時間を「--」表示とさせた後、(フィルター) (← ボタン④) を押し確定させてください。

お知らせ

- 確定せずに(運転切換) (ボタン②) を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。

- 入切タイマーを両方使用するときは、2.3.で運転開始/運転終了時間の両方の設定を行ってください。
 - ・入切タイマーを同時に設定することはできません。
 - 入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は「--」表示の状態としてください。
- (運転切換) (ボタン②) で、タイマー設定が完了します。
- (タイマー入切) (ボタン⑩) を押すとタイマー運転が開始され、設定された時間が表示されます。

簡易タイマー設定を確認するとき



- 液晶に「簡易タイマー」が表示されていることを確認します。
- (タイマーメニュー) (ボタン⑧) を押し、「タイマーモニター」表示とします。ボタンを押す毎に、「タイマーモニター」と「タイマーセッテイ」の表示が切り替わります。
 - ・設定されている入タイマーまたは切タイマー時間が表示されます。
 - 入切タイマーを両方設定されているときは、両方の設定を交互に表示されます。
- (運転切換) (ボタン②) を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。
 - ・ボタンを押さない場合も、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

簡易タイマー運転を解除(停止)するとき

- (タイマー入切) (ボタン⑩) を押し、タイマー設定した時間表示を消した状態とします。

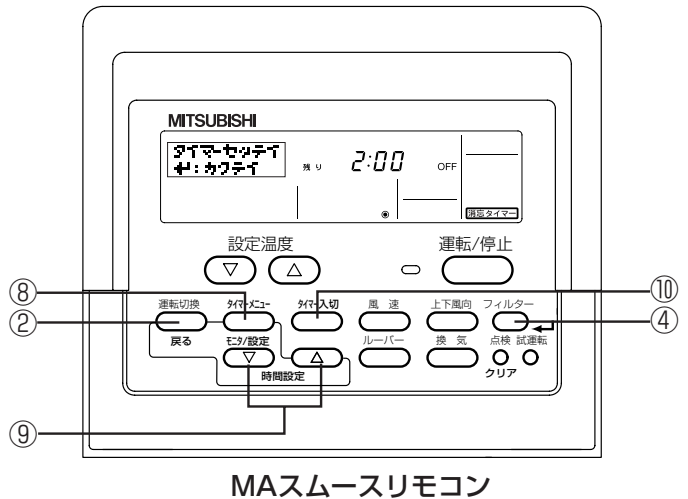
(ワイヤードリモコン)

(4) 消忘れ防止タイマー運転のしかた

- 消忘れ防止タイマーは運転開始後、設定された時間が経過したときに自動的に空調機を停止させます。
- 消忘れ防止タイマー設定時は、簡易タイマーの設定はできません。
- 消忘れ防止タイマー運転の設定範囲は、30分～4時間です。(設定時間は30分単位です。)

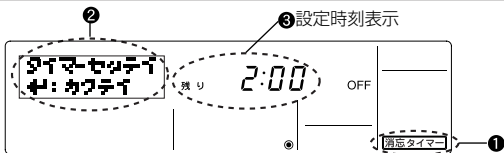
お知らせ

- 下記の場合、タイマー運転は実行されません。
「タイマー停止中」「異常中」「試運転中」「リモコン診断中」
「機能選択中」「タイマー設定中」「集中管理中(運転/停止操作禁止)」
- ※簡易タイマー設定中も同様です。



MAスムーズリモコン

消忘れ防止タイマーの設定のしかた

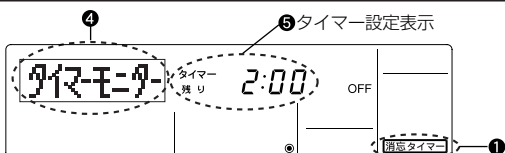


1. 液晶に「消忘れタイマー」が表示 ① されていることを確認します。
2. 「タイマーメニュー」(ボタン⑧)を3秒押し、「設定画面」表示 ② とします。ボタンを押す毎に、「モニター画面」と「設定画面」の表示が切り替わります。
3. 「時間設定」(ボタン⑨)を押して、切タイマー(運転終了時間) ③ を設定します。
4. 「フィルター」(ボタン④)を押して時間を確定させます。

お知らせ

- 確定せずに(運転切換) (ボタン②)を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。
5. (運転切換) (ボタン②)で通常画面に戻し、タイマー設定が完了します。
 6. 空調機が運転状態になると、消忘れ防止タイマー運転開始となり、設定された時間が表示されタイマー運転を開始します。
必ずご確認ください。

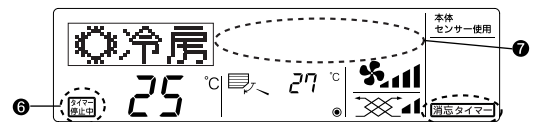
消忘れ防止タイマー設定を確認するとき



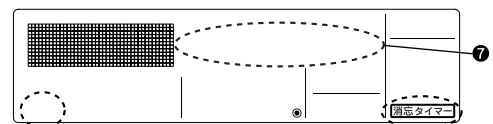
1. 液晶に「消忘れタイマー」が表示 ① されていることを確認します。
2. 「タイマーメニュー」(ボタン⑧)を3秒押し、「モニター画面」表示 ④ とします。
・設定されている切タイマー時間が表示 ⑤ されます。
3. (運転切換) (ボタン②) を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。

消忘れ防止タイマーを解除(停止)するとき

- 「タイマー入切」(ボタン⑩)を3秒押し、「タイマー停止中」 を表示 ⑥
タイマー実行時間 表示 ⑦ を消灯させます。

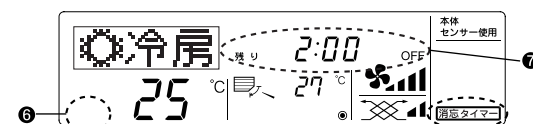


- 空調機を停止させ、タイマー実行時間 表示 ⑦ を消灯させます。



消忘れ防止タイマーを運転するとき

- タイマー停止中に「タイマー入切」(ボタン⑩)を3秒押し、「タイマー停止中」を消灯 ⑥、タイマー実行時間を点灯表示 ⑦ させます。
- 空調機を運転させ、タイマー実行時間を点灯させます。



(ワイヤードリモコン)

(5) 操作ロックのしかた

■簡易的にリモコンのボタン操作をロックすることができます。(操作ロックの機能には次の2つがあります。)
リモコン機能選択で設定します。
リモコン機能選択での設定方法については、P12,13の『(7)リモコンの機能選択のしかた』を参照してください。

①全ボタンロック

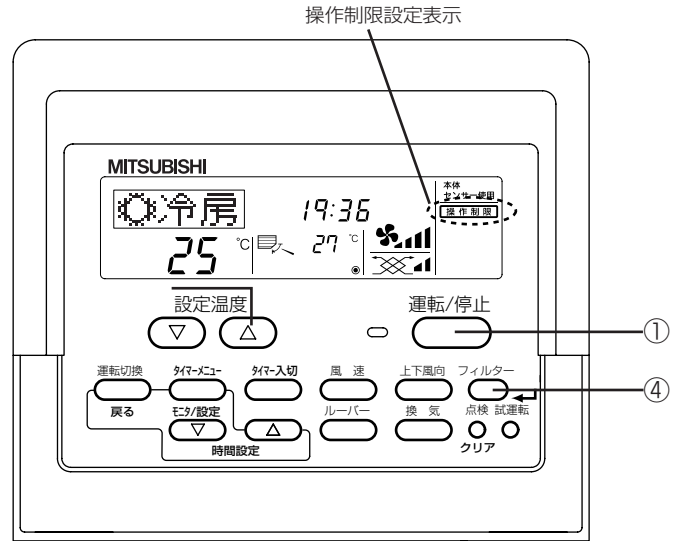
リモコンの全てのボタン操作をロックします。

②(運転/停止)ボタン以外ロック

(運転/停止)ボタン以外の操作をロックします。

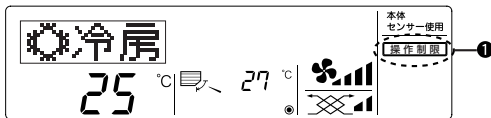
お知らせ

●操作ロック設定されている場合は、操作制限が点灯表示します。



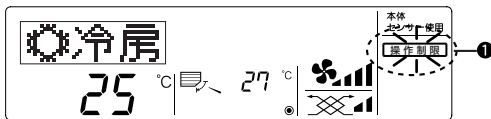
操作ロック設定のしかた

1. (フィルター) (← ボタン④) を押しながら、(運転/停止) (ボタン①) を2秒押しして **操作制限** ① を点灯させます。



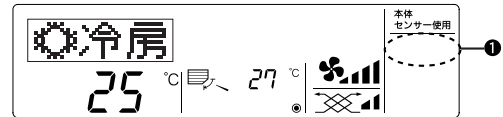
※リモコン機能選択で、“操作ロック設定なし”が選択されている場合は“無効ボタン”が点灯表示します。

2. 操作ロック中に、ボタン操作をしますと、**操作制限** ① が点滅表示します。



操作ロック設定解除のしかた

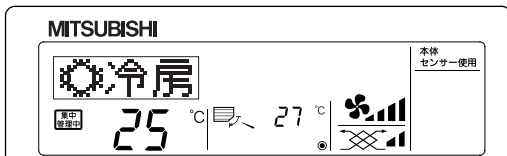
1. (フィルター) (← ボタン④) を押しながら、(運転/停止) (ボタン①) を2秒押しして **操作制限** ① を消灯させます。



(ワイヤードリモコン)

(6) その他の表示・点滅について

集中管理中表示



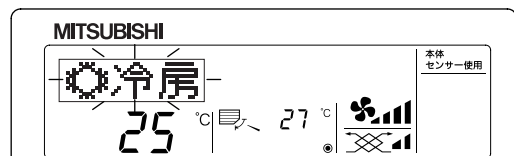
- 集中コントローラー等で、操作を制限しているときに表示します。制限される操作は以下のとおりです。

- ・ 運転/停止
- ・ 運転モード
- ・ 設定温度

お知らせ

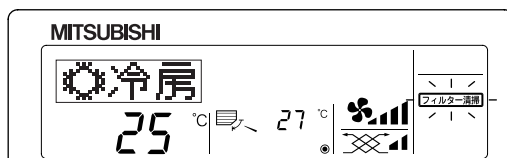
- 個々に制限される場合もあります。

運転モードの点滅



- 点滅のままの場合
室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- 点滅した後モードが切替わる場合
集中コントローラー等で、運転モードの操作をシーズン毎に制限しているときに表示します。他の運転モードをご使用ください。

フィルター清掃の点滅

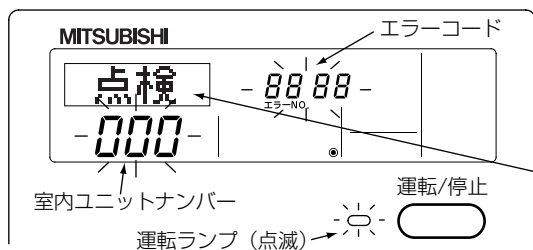


- フィルター清掃時期をお知らせします。フィルター清掃を実施してください。
- “フィルター清掃”表示をリセットする場合
フィルター清掃後、(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

お知らせ

- 2台以上の形で異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります。代表機種(親機)の清掃時期が来ると“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター表示を消すと、全ての積算時間がリセットされます。
- “フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
- フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。
- “フィルター清掃”が表示されていない時でも、フィルターを清掃した場合は、フィルターボタンを2度押ししてください。積算時間がリセットされ、その時点から運転時間が積算されます。

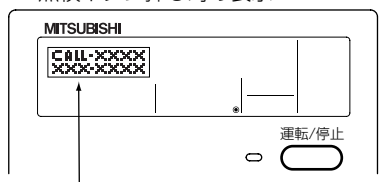
エラーコードの点滅



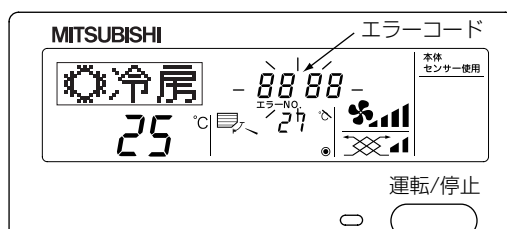
“異常時の連絡先”が設定されている場合は、異常時に連絡先の電話番号が表示されます。設定方法については『(7)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。

- 「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。ユニットナンバー、エラーコードを確認のうえ、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

※点検ボタン押し時の表示



“異常時の連絡先”が設定されている場合は、点検ボタンを1回押すと連絡先の電話番号を表示します。設定方法については『(7)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。



- 「エラーコード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）、空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。エラーコードを確認のうえ、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

(ワイヤードリモコン)

(7) リモコンの機能選択のしかた

リモコン機能選択モードでは下記の機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

大項目	中項目	小項目 (設定内容)
1. 言語切換 (CHANGE LANGUAGE)	表示する言語の設定を行います。	・他言語表示ができます。
2. 機能制限	(1)操作制限機能設定 (操作ロック)	・操作制限 (操作ロック) の範囲を設定します。
	(2)自動モード使用設定	・運転モードの「自動」使用有無を設定します。
	(3)温度範囲制限設定	・温度調節範囲 (上限・下限値) を設定します。
	(4)昇降機能モード使用設定	・昇降機能モードの使用有無を設定します。 ※本機種にはこの機能が無いため、設定無効になります。
	(5)風向固定モード使用設定	・風向固定モードの使用有無を設定します。 ※本機種にはこの機能が無いため、設定無効になります。
3. 基本機能	(1)リモコン主/従設定	・主リモコン、従リモコンを切替えます。 ※1グループ2台接続時どちらか一方を『従』設定にします。
	(2)時計使用設定	・時計機能の使用有無を設定します。
	(3)タイマー機能設定	・使用するタイマーの種類を設定します。
	(4)異常時の連絡先設定	・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 ・電話番号の設定をします。
4. 表示切換	(1)温度表示℃/°F設定	・表示する温度単位 (℃/°F) を設定します。
	(2)吸込み温度表示設定	・室内(吸込み)温度表示の有無を設定します。
	(3)自動冷暖表示設定	・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。

【機能選択の流れ】

[1] 空調機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する ⇒ [2] 大項目を選択する ⇒ [3] 中項目を選択する ⇒ [4] 小項目 (内容を設定する) ⇒ [5] 設定完了 ⇒ [6] 通常画面に移行する (終了)

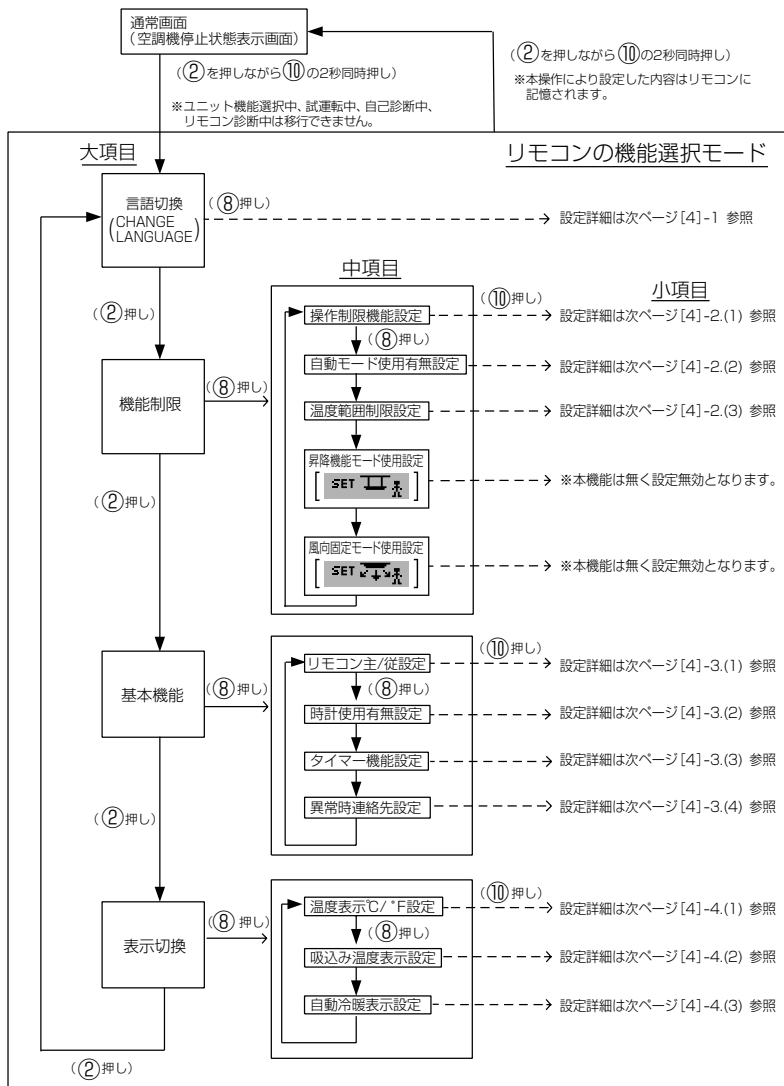


図 1

お知らせ

●リモコン機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。

ドット表示部 (ドット表示部は言語切換で設定した言語表示となります。本説明書は「日本語」設定の場合です。)

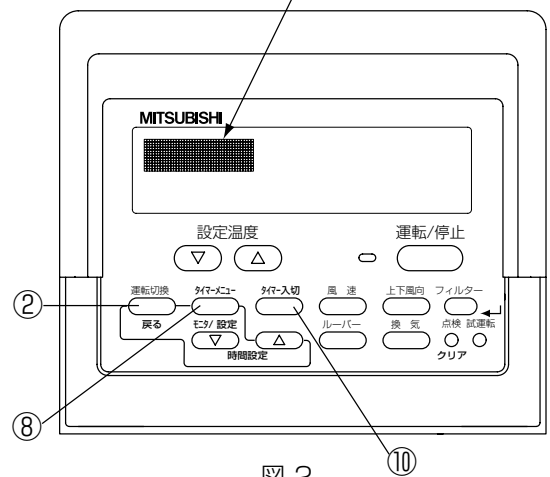


図 2

(ワイヤードリモコン)

【設定詳細】

[4]-1. 言語切替設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。

・タイマーメニューボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①日本語(JP)、②英語(GB)、③ドイツ語(D)、④スペイン語(E)、⑤ロシア語(RU)、⑥イタリア語(I)、⑦中国語(CH)、⑧フランス語(F)

[4]-2. 機能制限設定

(1) 操作制限機能設定 (操作ロック)

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①no1 : 運転/停止ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2 : 全ボタン操作ロック設定となります。
③OFF (初期設定値) : 操作ロック設定なしとなります。

※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作 (フィルターボタンと運転/停止ボタン同時2秒押し) が必要です。

(2) 自動モード使用設定

運転モード自動有りユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①ON (初期設定値) : 運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
②OFF : 運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

(3) 温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①冷房モード : 冷房・ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
②暖房モード : 暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
③自動モード : 自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
④OFF (初期設定値) : 温度範囲制限は実行されません。

※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていないければ制限は実行されません。

・設定温度▽ボタン、または設定温度△ボタンを押す毎に設定値がアップ、ダウンします。

・風速ボタンを押して上限値設定、下限値設定を選択を切替えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。

・設定範囲

冷房・ドライモード	: 下限値: 19℃~30℃	上限値: 30℃~19℃
暖房モード	: 下限値: 17℃~28℃	上限値: 28℃~17℃
自動モード	: 上限値: 19℃~28℃	下限値: 28℃~19℃

※設定範囲は接続されるユニット (スリム機種、フリープラン機種、中温機種等) により異なります。

[4]-3. 基本機能設定

(1) リモコン主/従設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①主 : 主設定となります。 ②従 : 従設定となります。

(2) 時計使用設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①ON : 時計機能が使用可能となります。 ②OFF: 時計機能が使用不可となります。

(3) タイマー機能設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます (いずれか一つを選択)。

- ①タイマー消忘れ防止 : 消忘れタイマー使用可能となります。
②タイマー簡易 (初期設定値) : 簡易タイマー使用可能となります。
③タイマー無効 : タイマー未使用設定となります。

(4) 異常時連絡先設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①CALL・OFF : 異常中に設定した電話番号は表示されません。
②CALL・0120 *** **** : 異常中に設定した電話番号を表示します。
CALL・__ : 左記表示時、電話番号を設定します。

・電話番号設定方法

設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。点滅しているカーソル() を移動して、数字を設定します。設定温度

△(▽) ボタンを押してカーソルを右(左)に移動させます。時刻設定△ボタンまたは時刻設定▽ボタンを押して、番号を設定します。

[4]-4. 表示切替設定

(1) 温度表示℃/°F設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①℃ : 温度表示単位をセ氏表示にします。 ②°F : 温度表示単位を華氏表示にします。

(2) 吸込み温度表示設定

・タイマー入切ボタンを押す毎に下記の順で設定する内容を切替えます。

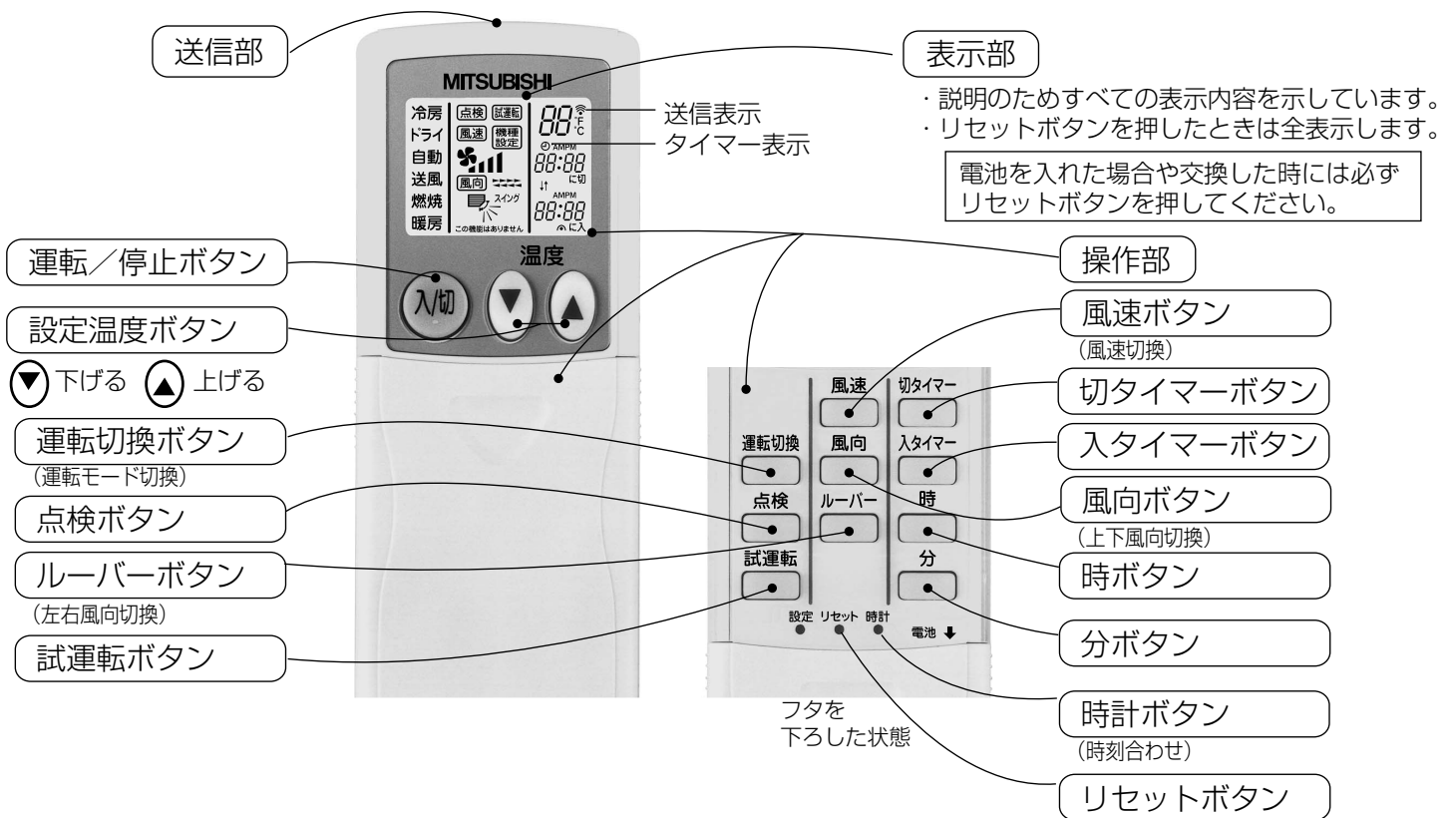
- ①ON : 吸込温度を表示します。 ②OFF : 吸込み温度は表示されません。

(3) 自動冷暖表示設定

・タイマー入切ボタンを押す毎に下記の順で設定する内容を切替えます。

- ①ON : 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。
②OFF : 自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

② ワイヤレスリモコン (別売部品)

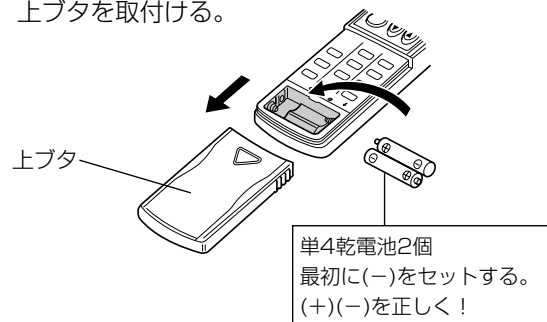


リモコンガイド

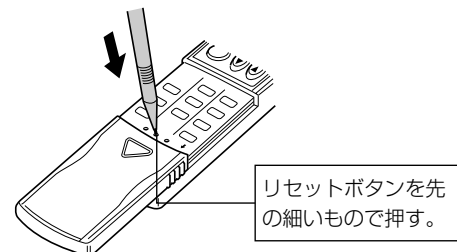
- リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
 - 電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。
 - リモコンの送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号のとどく範囲の目安は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。
 - 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
-
- リモコンの取扱いは大切に！落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、湿度の高いところに置かないでください。
 - 紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

電池を入れる/交換の方法

- ①上ボタンを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ボタンを取付ける。



- ②リセットボタンを押す

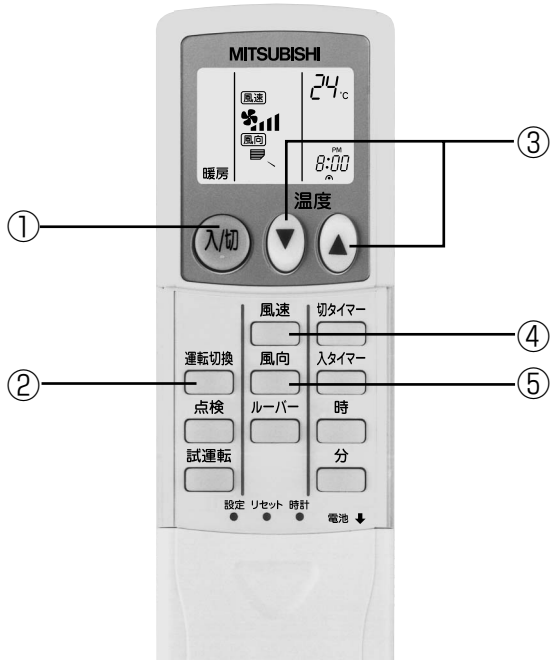


(ワイヤレスリモコン)

(1) 運転モードの切換え、室温・風速・風向調節のしかた

●運転開始の前に・・・

電源が入っているかを確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。



運転開始、運転モードを選ぶとき

1. (入切) ボタン①を押す。
●表示が点灯します。
2. (運転切換) ボタン②を押す。
●1回押すごとに設定が切替わります。
(換気単独運転にすることはできません)



設定温度を変えたいとき

- 温度を下げたいとき・・・ (▼) ボタン③を押す。
 温度を上げたいとき・・・ (▲) ボタン③を押す。
 ●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
 ●温度設定範囲は次とおりです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19～30℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

風速を変えたいとき

- 運転中に (風速) ボタン④を押す。
●1回押すごとに設定が切替わります。



お知らせ

- このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
 - ・“暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
 - ・暖房運転直後（モード切換待機中）
 - ・暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 - ・ドライモードのとき

上下風向を変えたいとき

- 手動操作となります。
 - 転倒しないように足場をしっかりとってください。
 - 運転を停止し、風向きルーバーをお好みの向きに調節してください。

左右風向を変えたいとき

- 手動操作となります。
 - 転倒しないように足場をしっかりとってください。
 - 運転を停止し、風向きルーバーをお好みの向きに調節してください。
 - 縦ルーバーをプライヤー等で左右に動かしてください。
※動かし過ぎると縦ルーバーの根元が破断する原因となります。
できるだけ角度の変更は少なくしてください。

運転を停止するとき

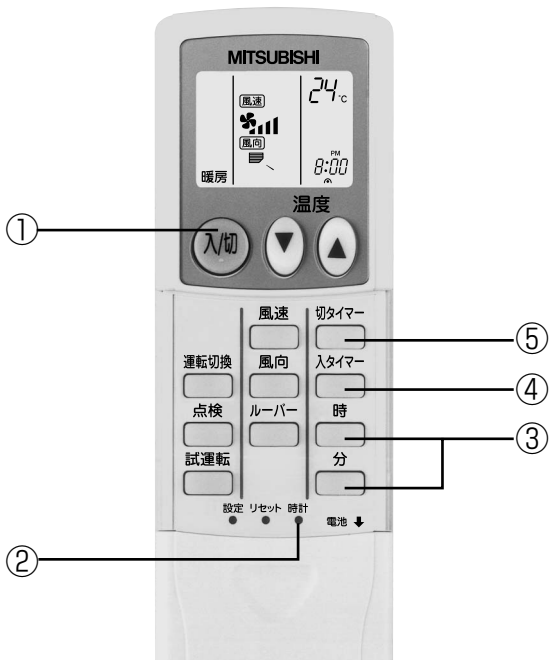
- (入切) ボタン①を押す。

電池組込み／交換時のリモコン設定内容

- 電池を入れた場合や交換した時には必ずリセットボタンを押してください。
- 電池組込み／交換時は初期設定、2回目以降は前回運転時内容となります。

(ワイヤレスリモコン)

(2) タイマー運転のしかた



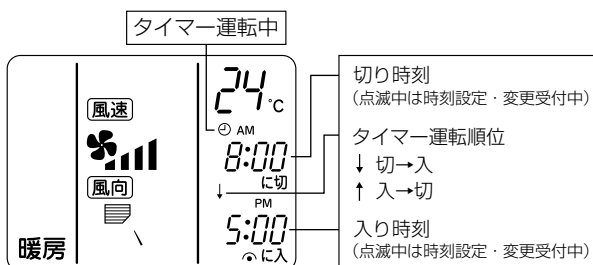
●タイマー運転の設定は、リモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

- ・ **入タイマー運転** 運転の開始のみをタイマーで行う
- ・ **切タイマー運転** 運転の停止のみをタイマーで行う
- ・ **入 ⇄ 切タイマー運転** 運転・停止の両方をタイマーで行う

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。

■タイマー時刻設定は、10分単位です。



現在時刻の設定を行うとき

1. **入切** ボタン①を押す。
●リモコンに表示がでます。
2. 時計ボタン②を押す。
● 現在時刻が点滅します。
3. **時** **分** ボタン③を押し、現在時刻を合わせる。
(電池を入れて最初に現在時刻を合わせる時はここから操作してください。)
4. 時計ボタン②をもう1回押す。
●現在時刻が点灯します。
(現在時刻合わせの設定完了です。)
■設定中に現在時刻が点滅から点灯に変わった時には手順2からやり直してください。

入タイマー時刻の設定を行うとき

1. **入切** ボタン①を押す。
●リモコンに表示がでます。
2. **入タイマー** ボタン④を押す。
●現在時刻が消灯し、入り時刻と④が点灯します。
“入”表示が点滅します。
3. **時** **分** ボタン③を押し、入り時刻を合わせる。
●入タイマー時刻設定後“入”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
●エアコンの運転は自動的に停止し、**入り時刻**まで待ちます。
■設定中に“入”表示が点滅から点灯に変わった時には**入タイマー** ボタン④を押した後、手順2からやり直してください。

切タイマー時刻の設定を行うとき

1. **入切** ボタン①を押す。
●リモコンに表示がでます。
2. **切タイマー** ボタン⑤を押す。
●現在時刻が消灯し、切り時刻と⑤が点灯します。
“切”表示が点滅します。
3. **時** **分** ボタン③を押し、切り時刻を合わせる。
●切タイマー時刻設定後“切”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。
■設定中に“切”表示が点滅から点灯に変わった時には**切タイマー** ボタン⑤を押した後、手順2からやり直してください。

(ワイヤレスリモコン)

入切タイマー運転を行うとき

1. 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。

- ↑ ↓ 表示は ↑ または ↓ どちらかが表示され、
↑ は、停止 → 運転 (入り時刻) → 停止 (切り時刻)
↓ は、運転 → 停止 (切り時刻) → 運転 (入り時刻)
を表します。

タイマー運転を解除するとき

入タイマー運転を解除するとき **入タイマー** ボタン④を押す。

- 入り時刻が消灯し、入タイマーは解除されます。

切タイマー運転を解除するとき **切タイマー** ボタン⑤を押す。

- 切り時刻が消灯し、切タイマーは解除されます。

入切タイマー運転を解除するとき **入タイマー** ボタン④と **切タイマー** ボタン⑤を押す。

- 入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーは解除されます。

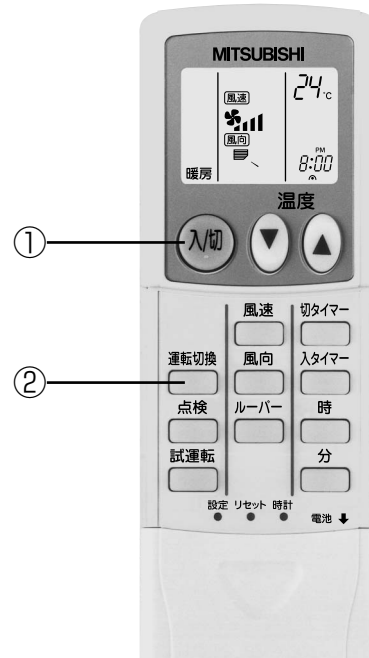
タイマー運転を解除し、エアコンを停止するとき **入切** ボタン①を押す。

- エアコンは停止します。同時に、設定されていたタイマー運転も解除されます。

お知らせ

- タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

(3) 自動運転、換気連動運転のしかた



自動運転を行うとき

1. **入切** ボタン①を押す。
2. **運転切換** ボタン②を押し、表示を **自動** にする。
 - 設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。(18ページ参照)

換気連動運転を行うとき

- 換気装置が連動接続している場合は、エアコンが運転を開始すると自動的に換気も運転します。
- リモコンには表示されません。

お知らせ

- ワイヤレスリモコンでの換気単独運転はできません。

もっと知りたいとき

ドライ運転とは

- ミスタースリムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行います。
- 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行われ、リモコンでは設定できません。

●運転モード

室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間 (分)	圧縮機停止時間 (分)
	温調信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26~27℃	7	3
		24~25℃	5	3
		23℃以下	3	3
	OFF	無条件	3	10
18℃以下	圧縮機運転禁止			

温調信号ON・・・室温が設定温度より高い場合
 温調信号OFF・・・室温が設定温度より低い場合

- 1.お好みの室温になるまで
 室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
- 2.お好みの温度になると
 圧縮機・室内ファンとも停止します。
 10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

暖房運転について

- 暖房開始時に風が弱い：吹出し空気温度が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切替わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。（ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。）
- 風速が設定どおりにならない：室温が設定温度となり、風速は弱風となります。
- 風が出ない：ワイヤードリモコンに“霜取中”表示中は風を出しません。（ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。）
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

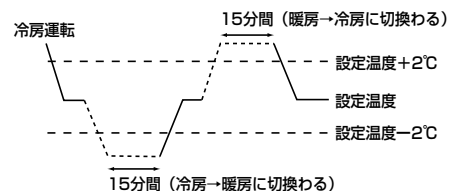
ミスタースリムの使用温度範囲

		室内	天井内 ^{*1}	室外
冷房・ドライ	乾球温度	19℃~32℃	~30℃	-5℃~43℃
	湿球温度	15℃~23℃	~RH80%	—
暖房	乾球温度	17℃~28℃	—	^{*3} -11℃~21℃
	湿球温度	—	—	^{*3} -12℃~15℃
送風・換気	乾球温度	—	—	—

※1 床置形などの露出タイプは除く。
 ※2 PUZ-ERP形、PUZ-RP形室外ユニットについては別売のエアガイドで室外ユニット吸込温度-15℃までの年間冷房運転可能。
 ※3 PUZ-ERP112~280形、PUZ-RP224・RP280形は、乾球温度：-20~21℃ 湿球温度：-20~15℃

自動運転とは

- 設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。
- 自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切替わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切替わります。



霜取中とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

換気連動運転とは

- 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

上手な使い方

上手な使い方ー“ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また露付・露たれの原因にもなります。
- 標準装備のエアフィルターは週に一度以上清掃してください。

中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じる時は、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感ずるときがあります。ドライ運転をご利用ください。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

4. お手入れのしかた

⚠ 警告

エアコンおよびリモコンを水洗いしない

- 水が侵入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

⚠ 注意

フィルターの着脱のときは不安定な台に乗らない

- 落下・転倒によるケガの原因になります。

フィルターの着脱には保護具（メガネなど）を着用する

- 目にゴミが入り、ケガの原因になります。

清掃の時は運転を止め、電源スイッチを切る

- 運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

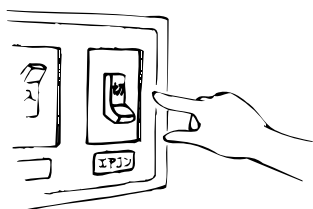
フィルターを取出した状態で運転しない

- 内部にゴミなどがつまり、故障の原因になります。

お手入れの前に

- 必ず、電源を「切」にしてください。

室内ユニット電源「切」にした後、室外ユニット電源を「切」にしてください。



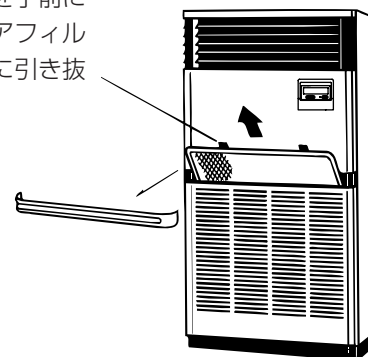
室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- 風向ベーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。また、リモコンケースは取外さないでください。
- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性/アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フィルターの清掃

(1) フィルターを取出す。

フィルターカバーを手前に引いて取外し、エアフィルターは手前斜め上に引き抜いてください。



(2) フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。



(3) 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

- フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。

(4) フィルターを元の状態に取付ける。 (取外しの逆の手順)

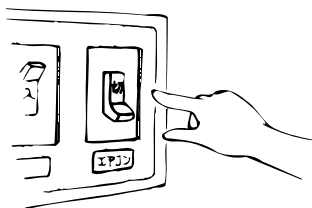
5. 長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

(1) 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因になります。

(2) エアコンの電源を切る。



■電源が入っていると、運転していなくても数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

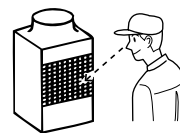
(3) <ワイヤレスリモコン使用の場合>
リモコンから乾電池を取出す。

再度使い始めるとき

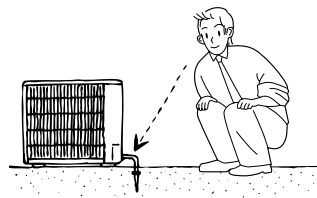
■下記作業(1)～(4)の点検を行ない、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

(1) フィルターを清掃して、取付ける。

(2) 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



(3) アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取付けてある場合があります。

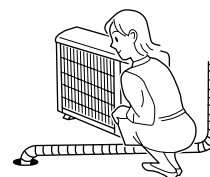


⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない

●アース工事に不備があると、感電の原因になります。
アース工事を行う場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(4) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



(5) 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

6. 「故障かな？」と思ったら

故障かな？	お答えします（故障ではありません）
よく冷えない。よく暖まらない。	<ul style="list-style-type: none">■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。■室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	<ul style="list-style-type: none">■十分に暖かな風をおとどけするための準備中です。リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのままお待ちください
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	<ul style="list-style-type: none">■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	<ul style="list-style-type: none">■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	<ul style="list-style-type: none">■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
部屋がにおう。	<ul style="list-style-type: none">■エアコンが壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹き出すためです。 ※においが著しい場合や、においに違和感のある場合は運転を止め、お買い上げの販売店にご相談ください。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	<ul style="list-style-type: none">■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	<ul style="list-style-type: none">■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。
リモコンの運転表示が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（●）が点灯しません。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房（暖房）運転しない。	<ul style="list-style-type: none">■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。再運転をした場合は、冷房（暖房）運転するまで約3分間お待ちください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。	<ul style="list-style-type: none">■“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転、停止、運転モード、設定温度のいずれかが禁止となっています。

故障かな？

お答えします（故障ではありません）

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

- リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。
 - 集中コントローラー等で、操作した場合に運転を開始します。
 - 電源発停機能に設定している場合、室内ユニットの電源を入れると自動的に運転を開始します。
 - 停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。
- ※電源発停機能および停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

- リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
- 集中コントローラー等で、操作した場合に運転を停止します。

リモコンのタイマー運転がセットできない。

- タイマー設定が無効になっていませんか？タイマー設定が可能なときは、**（簡易タイマー）**、**（消忘タイマー）**のいずれかが表示されています。

リモコンに“PLEASE WAIT”の表示がでる。

- 初期設定（約3分）を行っているためです。そのままお待ちください。停電からの復帰時や室外ユニットまたは室外ユニット電源を入切した場合など表示します。

リモコンにエラーコードが表示される。

- 自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。
※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

ワイヤレスリモコンの表示がでない薄い、受光部に近付けないと受信しない。

- 乾電池が消耗しています。
乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
※新しい乾電池でも表示のでない場合は、乾電池の入れ方（+、-）を再度確認してください。

ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。

- 自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。
※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

騒音が仕様値よりも高い。

- 室内の運動音は反響などにより、無響音室で測定した仕様値よりも、一般的につぎに示します値程度高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル等
騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB

7. 保証とアフターサービス

■保証書は室内ユニットに添付しております。

セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が完全に行われたことをサービスマンに確認してください。

■この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■機器予防保全の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

下記は、以下のご使用条件の場合です。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
- ②製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- ②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
- ③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
- ④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- ⑤頻繁な発停のある場所、運転時間が長い場所。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバ、ドレンポンプ等)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
電子基板類 熱交換器		25,000時間 5年	ドレンパン		8年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
- 電気部品に絶対に水(洗浄水等)をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。
- 補修用品の保有期間について
このエアコンの補修用品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	透湿膜式加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	自然蒸発式加湿エレメント		3年
平滑コンデンサー		10年	クランクケースヒーター		8年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

- 当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について【保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。】

- 保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。【保証期間経過後の修理は有償になります。】
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置の場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

8. 移設・工事について

移設について

⚠警告

据付けや移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす恐れがあります。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

■据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒（R410A）以外のものを混入させないでください。

据付け場所について

⚠注意

- 可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

②次の場所への据付けは避けてください。

- ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ・粉や蒸気が多量に発生するところ
- ・炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ
- ・油煙のたちこめるところ
- ・酢（酢酸）を多量に使用するとき
- ・湿気の多い場所
- ・海浜地区等塩分の多いところ
- ・高周波を発生する機械のあるところ
- ・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するとき
- ・特殊なスプレーを頻繁に使用するとき
- ・酸性の溶液を頻繁に使用するとき

など、エアコンの周囲雰囲気特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。

④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

電気工事について

⚠注意

- アース工事を行う。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。
- 据付け場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付け工事説明書に従って施工してください。

■電源はエアコン専用の回路を設けてあるか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■万一の感電防止のため、アースを取付けてください。詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。

■据付け場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

騒音にもご配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

■室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。

■エアコンをご使用中、異常音がする場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

9. 仕様

50/60Hz

		床置形		
室内 ユ ニ ツ ト	室内ユニット形名(冷暖房・浴房専用形共通)	PF-RP224BA5,6	PF-RP280BA5,6	
	電 源	室外ユニットからの電源重畳(AC200V)		
	騒 音：強-弱	dB	54-48	56-49
	標準風量：強-弱	m ³ /min	60-48	80-64
	標準機外静圧	Pa	0	0
	補助ヒーター（別売部品）	kW	4.2	5.2
	外形寸法（高さ×巾×奥行）	mm	1850×985×400	1850×985×400
	質量（本体+パネル）	kg	112	127

※50Hz、60Hz用です。

※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。

※騒音値はA特性値です。

様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号

施設所有者				設備製造者			
施設名称			系統名	設置年月日			
施設所在地			電話	使用機器		型式	製品区分
運転管理責任者			電話	製番		設置方式	現地施工
点検事業者	会社名		責任者	用途		空調用	
所在地			電話	検知装置			
使用冷媒	R410A	初期充填量(kg)	点検周期	基準	実績(月)	冷媒量(kg)	
						合計充填量	合計回収量
						合計排出量	排出係数(%)
作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名
							資格者登録No.
							チェックリストNo.
							確認者


●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
 ・JRA GL-14について、<http://www.jraia.or.jp/index.html>
 ・フロン漏えい点検制度について、<http://www.jarac.or.jp/roei/>

●フロンの見える化




室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。

この製品はフロン回収破壊法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン回収業者にフロンの回収を依頼してください。

室内機に表示されているフロン類の二酸化炭素換算値は、一般的な組合せ（室外機1台/室内機1台）での、冷媒配管長30mを想定した冷媒量を元にしています。

システム全体でのフロン類の二酸化炭素換算値は、室外機に表示されています。（3135kg～16.1ton）

愛情点検 ●長年ご使用のエアコンの点検を！ エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、このようなことはありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとう便利です。

お買い上げ店名 電話

お買い上げ(据付)日 年 月 日



〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)
 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111